



雀宮中だより

第 11 号

令和8年2月3日（火）

発行責任者 金橋由美子

小学校への乗り入れ授業

先日の進学先中学校訪問に続き、雀宮地域学校園内の小学校3校に、中学校教員による乗り入れ授業を実施しています。これは小中一貫教育の取組で、児童の中学校の学習に対する不安解消が目的となっています。

中学校教員の感想は、楽しい授業とともに児童の明るく活発な様子に元気をもらったとのことでした。

小学校児童の皆さんには、進学への安心感とともに期待を高められることを願っています。

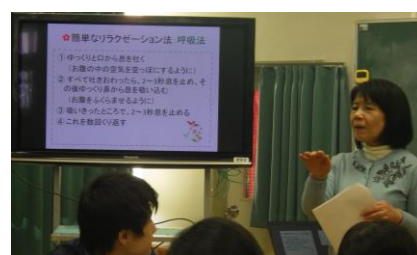


1学年 ドリームプラン（働く人に学ぶ）& 2学年 ストレスマネジメント講座

本校のキャリア教育の一環を紹介します。

1学年では、ハローワーク職員がナビゲータとなるドリームプラン（働く人に学ぶ）を実施しています。子どもたちは、自分の興味を仕事につなげ、働くことの意義や価値について考えることで、今の自分のできることを考えます。また、ここでの学びを2学年の社会体験学習につなげていきます。自分を振り返ることで、自身の可能性を見出す機会となればと考えます

同様に2学年では、「ストレスマネジメント講座～ストレスって何だろう～」と題し、本校スクールカウンセラーによる講座を実施しました。ストレス反応（心身のサイン）を客観的に把握し対処法などの説明を聞きました。中学2年という多感な時期において、ストレスは誰にでもあることを受け止め、課題解決力を身に付けようとする実践力を育むことが目的です。「立志」を迎えるにあたり、2年生の子どもたちには、よりよい生き方を見い出してほしいと思います。



雀中元気アッププロジェクト！



今年度は「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し、秋季「フリースロー大会」、冬季「長縄跳び大会」と体力づくりに取り組んでいます。保健体育委員会が「雀中元気アッププロジェクト」を運営し、子どもたちも楽しみにしています。また、昼休みは校庭のあちこちでボール遊びをしており、運動する楽しさを味わっているようです。



これ以外にも、「目の健康」を意識した生活習慣や規則正しい食習慣の育成を重点に取り組んでいます。「正しい姿勢」や「目のアイ（愛）ズデー」に関する内容は、学校HPの保健だよりや食育だよりでご確認ください。今年度の成果等については、2月の学校保健給食委員会でも報告する予定です。

講話「闇バイトについて」

2/2(月)、「匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)とは何か？」の講話を実施しました。講師の本校元PTA会長で保護司の関口様には、具体的な事例を提示しながら分かりやすく説明していただきました。闇バイトへの誘いを断る判断力や巻き込まれない強い意志の重要性等を知ることのできた貴重な時間となりました。

また、中学生のSNSやインターネットトラブルは後を絶たず、内容も様々です。ご家庭でも折に触れて、お子様とSNSの使い方について話し合う機会をもっていただければ幸いです。



県教育長メッセージ

県立高校における暴力行為動画の拡散に関する教育長メッセージについて通知がありましたので、お知らせいたします。本校においても、いじめや暴力のない学校づくりを全教職員で共有するとともに、生徒の安全・安心を確保するための取組を継続して参ります。

児童生徒の皆様へ

学校は、本来だれもが安心して過ごし、学び、成長できる場所です。それでも、心が苦しくなることやつらい思いをすることはあります。そのようなときは、どうか一人で抱え込まないでください。いじめや暴力は、どのような理由があっても許されません。言葉や態度、SNSで傷つくこともあります。あなたの気持ちはいつでも大切にされるべきものです。

私たちが大事にしたい4つのこと

1 「自分も他の人も大切にする心」

人は皆、それぞれ大切にされるべき気持ちがあります。自分の気持ちを大切にするとともに、他の人にも思いやりを持ちながら過ごしましょう。

2 「ひとりで抱え込まなくていいということ」

つらい気持ちや不安があるときは、ひとりで我慢しないでください。あなたの話を受け止め、向き合ってくれる大人が必ずいます。あなたの声は、自分を守り、誰かを助ける力にもなります。

3 「SNS を安心して使うために」

SNSの言葉や投稿は、誰かの心を深く傷つける場合があります。写真や動画、個人情報の扱いにも気をつけましょう。送る前に「相手はどう感じるだろう？」と考えることが大切です。インターネットの中でも、やさしさと責任を忘れず、相手を思いやる気持ちを持って行動しましょう。

4 「みんなでつくる安心できる学校」

学校はあなたの大切な居場所です。助けを求めること、困っている人に手を伸ばすこと、その一つひとつが、いじめや暴力のない学校につながります。心配や不安でどうしたらよいかわからないときには、身近な大人に相談してください。学校も地域も、あなたを守るために全力で支えます。

あなたのやさしさは誰かを救い、あなたの勇気が学校をもっと良い場所にしていきます。

令和8年1月22日
栃木県教育委員会教育長 中村 千浩

お子様の事で気になることがございましたら、学校までご連絡ください。